

令和 6 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

静岡県

行 事 名 称	文化財防火デーに伴う法華寺消防訓練
実施期間・日時	令和 7 年 1 月 26 日(日) 9:00~10:30
実 施 場 所	法華寺(静岡県焼津市花沢2)、焼津市花沢伝統的建造物群保存地区
主 催 者	法華寺、志太消防本部焼津消防署東分署、焼津市消防団、焼津市

■実施内容

訓練の想定

法華寺東側の山林より出火、関係者が初期消火を試みるも消火困難にて本堂に延焼する恐れがあると想定。また、伝統的建造物群保存地区内にある落水型消火栓が、水利不能となったと想定。

訓練の内容

法華寺住職による火災発見、通報、地区住民による文化財(模擬)搬出、初期消火(消火器・バケツリレー)、消防署・消防団による放水訓練。消防署・消防団による消防車両で高低差による遠距離中継体制をとって2想定(①消防車両4台で地区入口から法華寺入口までホースを延長して放水、②消防車両3台で地区内にある消火栓(連結送水管のように)を利用して放水)の放水検証訓練を実施。

参加者及び役割分担

法華寺関係者(5名):映像配信『ライブ通報119』を利用した119通報、文化財の搬出、打鐘

花沢地区住民(13名):初期消火、打鐘

志太消防本部焼津消防署東分署(10名):全体統括、放水訓練

焼津市消防団(100名):放水訓練、ドローン飛行中継訓練、講評

焼津市(4名):記録

特に工夫した点

山火事という想定から、火災状況を適切に伝えるために通報から映像配信『ライブ通報119』を利用した通報訓練を実施。

地区内では、消防水利が少なく、4トンのポンプ車が進入できない箇所もあることから、地区内の自然水利での落水式消火栓が水利不能を想定し、今回初めて消防署・消防団による消防車両で高低差による遠距離中継体制をとって2想定を検証訓練を実施。特に消防車両3台で地区内にある消火栓(連結送水管のように)を利用して放水する想定は初の試みで、狭小な地区で効率よく消火できる方法として有効であることが実証された。

消防署が実施後、参加した消防職員・消防団員にアンケートを実施し、訓練のフィードバックを実施。

問題点・課題

法華寺や花沢地区は登山道の途中にあり、今回実施日が日曜であることから多くのハイカーが訪れる中での実施となった。実施の案内は1カ月前から観光駐車場および地区入口等に看板を設置して掲示を行い、3日前からSNS等でも情報発信を行ったため大きなトラブルはなかったが、当該地区ではハイカーの避難・誘導も視点に入れるべきだった。

その他

今回の訓練結果(特に検証訓練)は、今年度策定中の『焼津市花沢地区伝統的建造物群保存地区防災計画』に記載する。

訓練風景

別紙のとおり



1 疑似火点



2 映像配信『ライブ通報 119』による通報訓練



3 法華寺境内の半鐘を打鐘



4 地区内の半鐘を打鐘



5 文化財搬出訓練（模擬品）



6 消火器による初期消火訓練



7 バケツリレーによる初期消火訓練



8 志太消防本部による放水訓練



9 消防団によるドローン飛行中継訓練



10 水道工務課職員立会いの下、簡易水槽への給水状況



11 消防署・消防団による遠距離中継体制による放水訓練（想定①）



12 遠距離中継体制をとった放水訓練（想定①）



13 既存消火栓を利用した遠距離中継体制による検証訓練（想定②）低位連結状況



14 既存消火栓を利用した遠距離中継体制による検証訓練（想定②）高位連結状況